

長期戦略:テーマ 「卒業生との連携-生涯を通じた “Mastery for Service”の実現を支援」

提出日 2022年8月24日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	藤田常務理事 (総務部)	実施計画の 担当部署	教務機構
-----------------------	-----------------	---------------	------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
8-(9)-① 卒業生の学びの提供	2019年度	2024年度	必要なし	不要
内容 シニア層卒業生対象の学びの場としては、既存の生涯学習プログラムである「K. G. ライフワークスクール」がシニア層をメインターゲットとしているので、「K. G. ライフワークスクール」の卒業生の認知度を向上させ、卒業生の受講者数を増加させる。 ミドル層(30~40歳代)卒業生対象の学びの場としては、ミドル層を対象とした既存の生涯学習プログラム(三日月塾、新月塾、東京丸の内講座等)および学内各部課における生涯学習の取り組みを再検証し、ミドル層へのプログラムの再構築を目指す。				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	「K. G. ライフワークスクール」の卒業生受講者数比率	「K. G. ライフワークスクール」の受講者数における卒業生の占有率(2018年度前期実績:57%)		
指標2	ミドル層対象プログラムの再構築	既存プログラムのリニューアルまたは新規プログラムの実施の有無 (東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learningを活用したプログラム等の検討を含む)		

目標1<指標1>「K. G. ライフワークスクール」の卒業生受講者数比率

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	60%	63%	65%	67%	70%	70%
実績	58.8%	—（不開講）	65%			

目標2<指標2>ミドル層対象プログラムの再構築

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	既存プログラム再検証	リニューアルまたは新規プログラムの実施概要検討	リニューアルまたは新規プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルまたは新規プログラムの実施 ・東京におけるアドバンストなプログラム、e-learningを活用したプログラム等の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンストなプログラム、e-learningを活用したプログラム等の実施概要検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンストなプログラム、e-learningを活用したプログラム等の実施
実績	既存プログラムの業務移管	各プログラムオンラインでの実施	各プログラムオンライン中心で実施			

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
「K. G. ライフワーク スクール」プログラムの 卒業生受講者数の 増加	策定段階	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策実施	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策実施	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策の見直し	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策実施	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策実施
	2023年3月末段階	—	—	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策の見直し	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策実施	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策実施	卒業生への認知度向上・受講者数増加施策の見直し	
	2023年3月末段階	—				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ミドル層対象プログラムの提供	策定段階	既存プログラム再検証	リニューアルまたは新規プログラムの実施概要検討	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・三日月塾 in 大阪の実施部署の検討	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learning を活用したプログラム等の検討	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learning を活用したプログラム等の実施概要検討
	2023年3月末段階	—	—	—	三日月塾 in 大阪の実施部署決定(東京丸の内キャンパス・校友課)	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learning を活用したプログラム等の実施	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learning を活用したプログラム等の実施	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learning を活用したプログラム等の実施	・リニューアルまたは新規プログラムの提供 ・東京におけるアドバンス的なプログラム、e-learning を活用したプログラム等の実施	
	2023年3月末段階	—				

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度 承認	2023 年度 承認	2024 年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019 年度 承認	2020 年度 承認	2021 年度 承認	2022 年度 承認	2023 年度 承認	2024 年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「K. G. ライフワークスクール」の西宮北口キャンパスでの開講にあたり、2020 年度前期・後期ともに講師の内諾が得られ、2020 年度前期については教室も確保でき、募集を開始することができた。また、卒業生への認知度向上・受講者数増加施策として、母校通信の生涯学習特集ページの強化を実施した。 ・既存プログラムのうち、社会的ニーズへの迅速な対応の必要性が高いプログラム（「東京丸の内講座」「三日月塾・三日月塾 in 大阪」「新月塾」）を業務移管することにより、各プログラムの機動力を向上させることができた。
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・K. G. ライフワークスクールは不開講となったが、「卒業生の学びの提供」の観点では、社会的な認知を得ている生涯学習プログラムを、安定的に供給するためにオンライン等活用の準備を行った。成果として「ウィズコロナ・ポストコロナ」対応として対策を講じ、オンライン型（同時双方向型）実施スタイルを急速に進めたことにより、既存プログラムのリニューアルが進み、結果として卒業生のチャネル拡大（居住地やライフスタイル左右されず、柔軟に参加可能な新たなスタイル）の実現ができた。 ・三日月塾及び三日月塾 in 大阪は、コロナ禍の対応検討で開始が遅れはしたが、7 月よりオンラインと対面を組み合わせで通常通り全 10 回開講できた。
2021 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・K. G. ライフワークスクールは、試行的に前期の全ての講座をオンライン（同時双方向型）で実施したが、安定的に実施できたため、後期の講座についても全てオンライン（同時双方向型）で実施した。対面実施時より開講講座数及び受講者数は減少したが、卒業生の受講者数比率は増加した。 ・三日月塾及び三日月塾 in 大阪は、オンライン及び対面のハイブリッドで年間通じて開講した。東京在住女子卒業生を対象とした新月塾は対面での実施の可能性を探ったが、コロナ禍の状況を鑑み新規募集は中止し、2019 年度までの新月塾参加者を対象としたオンライン勉強会を実施した。
2022 年度	
2023 年度	
2024 年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「K. G. ライフワークスクール」の西宮北口キャンパスでの試行的開講を、2020 年度に向けて検討中である。 ・既存プログラムのうち、「三日月塾 in 大阪」の塾生の質向上が喫緊の課題として捉え、現在、ハンズオン教育プログラム室が開講している「キャリアゼミ」を受講した卒業生との連携を、2020 年度に向けて検討中である。
2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響を受け、「K. G. ライフワークスクール」の 2020 年度前期の全講座が中止となった。また、後期については教室を確保することができず、結果的に、2020 年度には西宮北口キャンパスでの開講は実現できなかった。 ・コロナ禍の対応として、「三日月塾・三日月塾 in 大阪」を 2020 年度は Zoom にて開講することとなった。これを契機に、e-learning（各種オンラインツール）を活用した新規プログラムについて、前倒しで検討していきたい。
2021 年度	<p>【「K. G. ライフワークスクール」プログラムの卒業生受講者数の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナを見据えて、新規プログラム検討の前に、既存プログラムのオンライン対応・移行に取り組む。 ・加えて、フェーズⅡに向けて、今年度中に以下の仕組みを整える。 (1) 講座形態の多様化（オンライン活用の推進）(2) 広報の強化（ホームページリニューアルに伴う閲覧数向上に向けた工夫） (3) 受講者等からのニーズ把握（オンラインツールを活用したプログラムニーズキャッチ） <p>【ミドル層対象プログラムの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後 10 年以内の東京在住卒業生を対象とした勉強会をオンライン実施で計画。また、2022 年度にキャリア教育がキャリアセンターに移管される予定で、三日月塾 in 大阪の実施部署を検討する必要がある。
2022 年度	<p>【「K. G. ライフワークスクール」プログラムの卒業生受講者数の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により対面の会場確保が制限され、講座ごとに対面・オンライン（同時双方向型）に分けて実施することとしていたが、前期のオンライン講座への申し込み状況が低調なこと、また対面の会場が確保できたことから、後期のオンライン講座については、対面に切り替えて大阪梅田キャンパスにて実施予定。また、K. G. ライフワークスクールの主な広報媒体である母校通信（リーフレット同封）が、2022 年秋以降、終身会費未納者へは送付されないこととなり広報対象者が減少するため、広報拡充に向けた施策を検討する必要がある。 <p>【ミドル層対象プログラムの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京在住女子卒業生を対象とした新月塾新規塾生を、3 年ぶりの対面での開講に向けて 9 月に募集予定。また三日月塾 in 大阪の実施部署が、東京丸の内キャンパス及び校友課となり、より手厚い関わりの中で、塾生の参加意欲の向上を図るなど、塾の活性化を推進する。
2023 年度	
2024 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018年度	—
2019年度	—
2020年度	—
2021年度	—
2022年度	—
2023年度	

7. Total Review の結果

【フェーズⅠ(2019～2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献も含む「K.G.ライフワークスクール」を西宮北口キャンパスなどを活用して実施している。 ・本学同窓生向けとなる「新月塾」「三日月塾」等は、東京丸の内キャンパスなどを活用して実施している。 ・卒業生向けと地域住民向けのプログラムを切り分けて、実施計画の内容を修正する必要がある。 	継続 ・ 廃止	・同左

【フェーズⅡ(2022～2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	